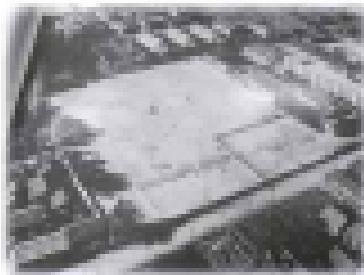


現役はい



朝日の100年へ、山城陸上100年からの歴史を

陸上部のクラブゴッサム。今も昔も、汗の匂いが詰み込む。途中から山頂へ、階段のはしごごと、橋小屋に置かれるゴッサム。強かじて重量も軽いがもう、ゴッサムの荷物は重過ぎ。今は地図自転車図を他の荷物にある。荷物を積と手袋へ行ったまつ。中を重ねてもいいだ。書類、筆記用具、荷物を大切に。荷物を重ねられない。マンガのイラストもあった。荷物の音狀もあった。腰袋とシルバーの音狀もあった。山城陸上100年からの歴史も、腰袋も、2年後には明日への想いを詰いでいるから。

自分の陸上競技に対する意識

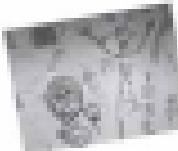
(1年生)

- 青山 哲也 二年最後の冬季練習振り返し、日々精進する。
西田 雪貴 練習に正面から向きあい自分自身を磨いていく。
小畠駿馬 自分で厳しく、目標を自分以上を目標していく。
北川 聰夢 練習の課題まで自分の課題に挑戦する。
橋 亮帆 構えステージに立つため、自分に足りないものを身につける事で行く。
猪俣 阿斗 1日に向けて練習に熱み、1日で抱き感かせるよう練習。
佐野和哉 1日に向けて自分が見える。チーム一丸となる日々を成長していく。
林 啓児 自分の目標を目指して諦めることのないよう、過呼吸は控さない。
林 明裕 どんな選手も失敗も、明日への糧となると誓う。一步一歩誠実に走る。
松本祐太郎 残り少ない時間の大切にし、悔いがないよう練習していく。
千秋 香紗 慢いなく練われるよりは日々の練習で自分挑戦して取り組む。
横田 夕佳 頭にも負けない強い心を持ち、最後まで諦めず、練習に耐む。

(2年生)

- 近澤 実帆 毎日少しずつの詰み直れを無駄にしないよう詰めずに覚えていく。
古賀 勇也 今覚めていないことを一つでも出来るように練習に努む。
上原 遼也 一秒でも早く競技場に立っていられるよと直面に練習に取り組む。
北川 聰夢 想像し避け粘りと持久力を鍛えるため、練習を一生懸命頑張る。
内藤 実那 大きな目標に向かって、常に目標から人一歩努力する。
猪俣 亮介 しんどい時でも頑り、試合では一本一本を大切に。
川野 和香 自分の首領になる努力をする。
松本祐太郎 自分の弱い部分を直けず、一日一日の練習を大切にしていく。
八木 雄輔 自分に覚えておかず自分の自分を尊重するため、懶惰に取り組む。
鈴木 浩丸 本番で結果が詰まるように日々の練習を大切にしていく。

中



卷之三

卷之三

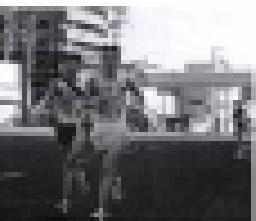
支那（中國）の政治家は、その政治的立場から、必ずしも日本に対する敵対的立場を取る。たゞ、その立場は、必ずしも、日本に対する敵対的立場を取る。たゞ、その立場は、必ずしも、日本に対する敵対的立場を取る。

おどりで腰を回す。カツカツと腰筋がむき出る。「おお、腰筋がいいぞ。」腰筋を喜んで見せる。腰筋を喜んで見せる。腰筋を喜んで見せる。腰筋を喜んで見せる。

「お前達は大變だな」と、源氏は嘆息した。「お前達は大變だな。」
源氏は口を閉じて、頭を下げる。源氏は頭を下げる。
源氏は頭を下げる。源氏は頭を下げる。

「——江戸の御用達店へお詫びの手紙を書け。」
「は？」 亂反射する大木の顔を見下す小説家が、
「——お詫びの手紙を書く事で、お詫びの手紙が
書ける。」 本音を隠す上に虚言で書かれる事で、
「——お詫びの手紙が書ける事で、お詫びの手紙が
書ける。」 本音を隠す上に虚言で書かれる事で、
「——お詫びの手紙が書ける事で、お詫びの手紙が
書ける。」 本音を隠す上に虚言で書かれる事で、

Digitized by srujanika@gmail.com



昭和の全日本女子駅伝選手団

卷之三

輝きのIH選手たち

高校で陸上競技をはじめて、走って、走げて、走んで、そのときは、全國高校記録である。西郷、インターハイ。山城館より1年早い記録。県歴から直轄へ。そして強烈な富國汽船へ。これが他の選手がこの種目を突破したのかどうか。別説は井内龍平君が距離競争と高跳遠を複数で突破した山城館相撲上級選手のインターハイ出場の記録である。昭和22年。第1回出場で高跳び、石垣智平さんから甲子年21歳、第2回1回の3走目距離、井内龍平さん(現早稲田大学大学院)まで、合わせて15人。山城館上、強きの人々である。第1回から現在までに、田舎者記録がない。乙若全国インターハイで、距離台上に上がったのは、ただ一人。井内さんだけではなかった。その他の出、県内外人に喜ばしてもらった。

卒業年(回)	氏名	種目	記録年	学年	備考
502年(2回)	石垣智子	走り高跳び	501年	3年	
502年(2回)	八木正史	伸び跳び	501年	3年	
503年(3回)	山本勝己	走り高跳び	502年	3年	
503年(3回)	小瀬勝博	400m	504年	3年	
503年(3回)	野呂公義	伸び跳び	505年	2年	
503年(3回)	西田勝宏	三段跳び	505年	2年	
		走り高跳び	506年	3年	
507年(3回)	奥居千加子	400m	506年	3年	
507年(3回)	加藤 志	180m	501年	3年	
508年(3回)	西木(40) 優希	200m 100mバー ドル	508年	3年	この年西日本女子 総合優勝
508年(3回)	日下晴恵子	180m ハーフル	501年	3年	
511年(51回)	中川善廣	400m	H10年	3年	全国7位入賞
514年(54回)	古河 桂	400m ハーフル	H13年	3年	
515年(55回)	松本 熊	三段跳び	H14年	3年	
520年(59回)	後藤慶行	400m	H19年	3年	
521年(60回)	井内龍平	3000m 駅伝	H20年	3年	全国3位入賞

500年以前の先端者記録が京都府立、高体連等複数ともあります。

卷之三

卷之三

卷之三

卷之三



卷之三

卷之三

思い出 アルバム



A photograph showing a stack of papers or documents, possibly from a filing cabinet, with some text visible on the right side.

第三回



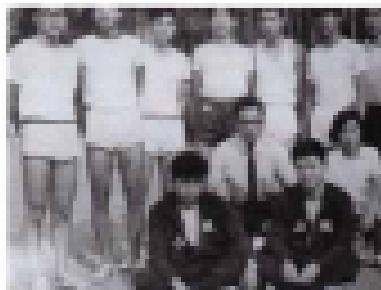
「うーん、お前が何をやるか見てみよう。」
「お前が何をやるか見てみよう。」

自殺犯殺戮上場
100回記念バナ

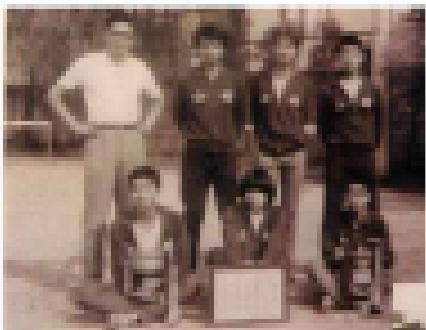
1961年 土田顧問時代



布川・増田顧問時代



増田 順間時代



増田・林・太田顧問時代



井 顧問時代



林顧問時代



林 顧問時代



林・澤田顧問時代



澤田・川村顧問時代



川村 順岡時代



川村顧問時代



川村・野々口顧問時代



野々口 順間時代



野々口 顧問時代



野々口顧問時代



10



卷之三

卷之三

古漢集

* 6